学校番号	１１５

平成 30 年度　地歴科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年	３年
類型等	文型（選択）・文理型（選択）						
使用教科書	「詳説　日本史Ｂ」　（山川出版）						
副教材等	「最新　日本史図表」（第一学習社）、 「新日本史研究ノート（応用編）」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史Ｂの授業では、原始から 18 世紀中頃までの日本の歴史を学習します。
歴史の学習は、人名や歴史用語の暗記ではありません。その出来事が起こったのは、それまでの経過や因果関係があるものです。こうしたものを多角的、客観的に俯瞰してこそ、見えてくるもの、考えさせられるものがあります。時系列や環境を頭に入れて考えながら取り組んでください。
３年生は大学入学試験が目の前に迫り、手っ取り早く短時間で覚えたいと考えてしまいがちです。しかし、入試の内容はとても幅広く、しかも様々な手法で出題されます。それに対処するためには、日頃から多くの情報を入手すること、歴史をしっかりと理解することが必要です。授業にしっかりと取り組んだうえで、毎日復習を繰り返して積み上げていってください。その手助けとなる授業を展開します。

2　学習の到達目標

日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、日本の伝統と文化の特色についての認識を深めつつ、歴史的思考力を培う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会をみつめ、主体的に生きる力を身につけようとする。	現代世界の諸問題を歴史的観点から考察し、国際社会における日本のありかたを公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に関する諸資料を多角的に収集し、それら正確に読み取り、有用な情報を生かしてまとめることができている。	日本の歴史を、世界の歴史や地理的条件と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークノート レポート 主題学習	定期考査 ワークノート レポート 主題学習	定期考査 ワークノート レポート 主題学習	定期考査 ワークノート 主題学習
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	原始・古代	日本文化のあけぼの 律令国家の形成 貴族政治と国風文化	 ○ 	 ○	○ ○ ○	○ ○ 	a:東アジアとの関連や諸地域の動向に注目しながら歴史をみつめているか。 b:文化の変遷や律令体制の形成と変容などを歴史の流れの中でとらえているか。 c:遺跡や遺物、文書など歴史資料の特性に着目し、歴史を分析しているか、また文化財保護の重要性に気づいているか。 d:原始社会の特色、古代国家と社会や文化の特色を理解しているか。	定期考査 ワークノート レポート 主題学習
2	中世・近世	中世世界の成立 武家社会の成長 幕藩体制の確立 幕藩体制の展開 幕藩体制の動揺	 ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:東アジアとの関連や諸地域の動向に注目しながら歴史をみつめているか。 b:政治制度の変遷や社会の仕組み、各時代の文化の特色などを歴史の流れの中でとらえているか。 c:遺跡や遺物、文書など歴史資料の特性に着目し、歴史を分析しているか、また文化財保護の重要性に気づいているか。 d:中世における公武関係、土地支配体制、社会や文化の特色を理解しているか。また、近世国家の形成過程やその特色について理解しているか。	定期考査 ワークノート レポート 主題学習
3	近代・現代	近代国家の成立 二つの世界大戦とアジア 占領下の日本 高度経済成長の時代 激動する世界と日本	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:国際環境を正しくとらえたうえで世界の中の日本としての歴史をみつめているか。 b:近代国家の形成、現代社会の変容、国際社会の動向などを歴史の流れの中でとらえているか。 c:遺跡や遺物、文書など歴史資料の特性に着目し、歴史を分析しているか、また文化財保護の重要性に気づいているか。 d:立憲国家形成の過程と展開、大衆社会の動向と特色、対外政策の推移、国民生活の変容、国際社会の動向とその影響などを理解しているか。	定期考査 ワークノート レポート 主題学習

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。